

## 三島駅南口のホテル計画地

# 大半が標準価格の53%

市答弁

三島市の梅原寛財政  
 経営部長は7日、市議  
 会11月定例会の一般質  
 問で、三島駅南口のホ  
 テル建設計画における  
 最低土地売却価格につ  
 いて、対象面積の大半  
 が標準価格の53%だっ  
 たと明らかにした。不  
 動産鑑定評価基準に基  
 づく査定とし、「適正  
 な価格設定」と理解を

求めた。

質問者の佐藤寛文氏

(フォーラム三島)は

3千平方メートルを超える駅

前の一等地が約4億

8千円とされたこと

を念頭に、「(市民な

どの間に)安すぎない

かとの声がある」と指

摘。これに対し梅原

部長は「評価基準は実

質的かつ統一的な行為

規範」と客観性を強調

した。

答弁などによると、

当該の土地は市土地開

発公社の所有地で、売

却する3400平方メ

ートルのうち9割を占める3

140平方メートル。面積が

広く不整形な点が「市

場性が低い」と判断さ

れ、1平方メートルあたり12

万6千円と算定された  
という。

残りの市所有2600

平方メートルの評価は基準

の112%だった。こ

れにより1平方メートル単価

は標準価格23万8千

円に対し、計画地全体

で13万6千円となっ

た。

計画地には東京急行

電鉄がシティーホテル

を建設する。